



平成28年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成22年基準】

1 概況

生産指数	93.7	前年比4.2%の低下
出荷指数	92.8	前年比3.9%の低下
在庫指数	132.3	前年比1.0%の低下

平成28年1年間の生産指数は、非鉄金属製品工業等が上昇したものの、電気機械工業、化学工業等が低下したため、前年比4.2%の低下となった。

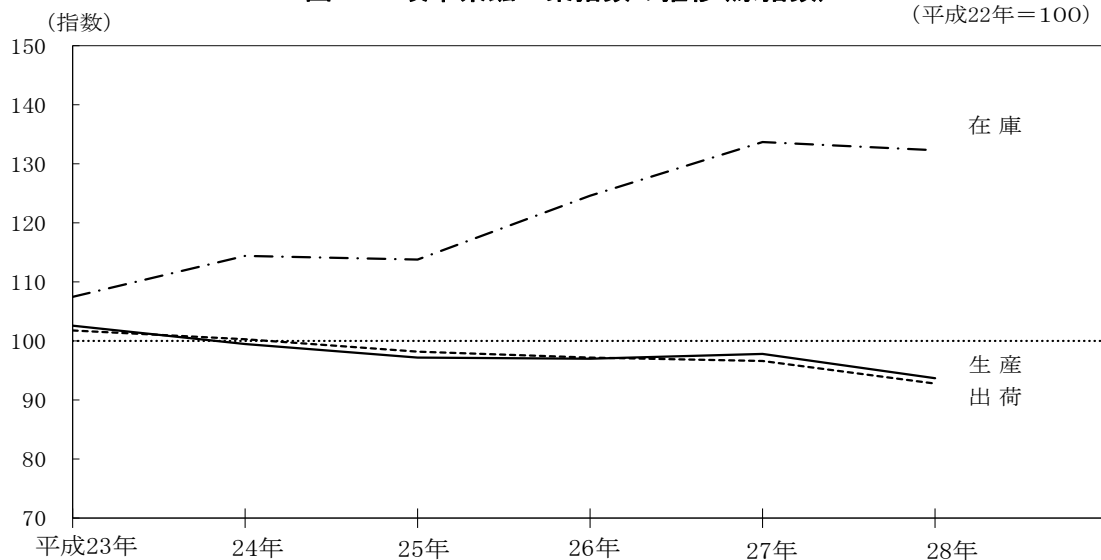
また、出荷指数は、電気機械工業、化学工業等が低下したため3.9%の低下となり、在庫指数は、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下したため1.0%の低下となった。(図-1)

(平成22年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
平成23年	102.6	2.6	101.8	1.8	107.5	7.5
24	99.5	△ 3.0	100.3	△ 1.5	114.4	6.4
25	97.2	△ 2.3	98.2	△ 2.1	113.8	△ 0.5
26	97.0	△ 0.2	97.2	△ 1.0	124.6	9.5
27	97.8	0.8	96.6	△ 0.6	133.7	7.3
28	93.7	△ 4.2	92.8	△ 3.9	132.3	△ 1.0

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

(平成22年=100)



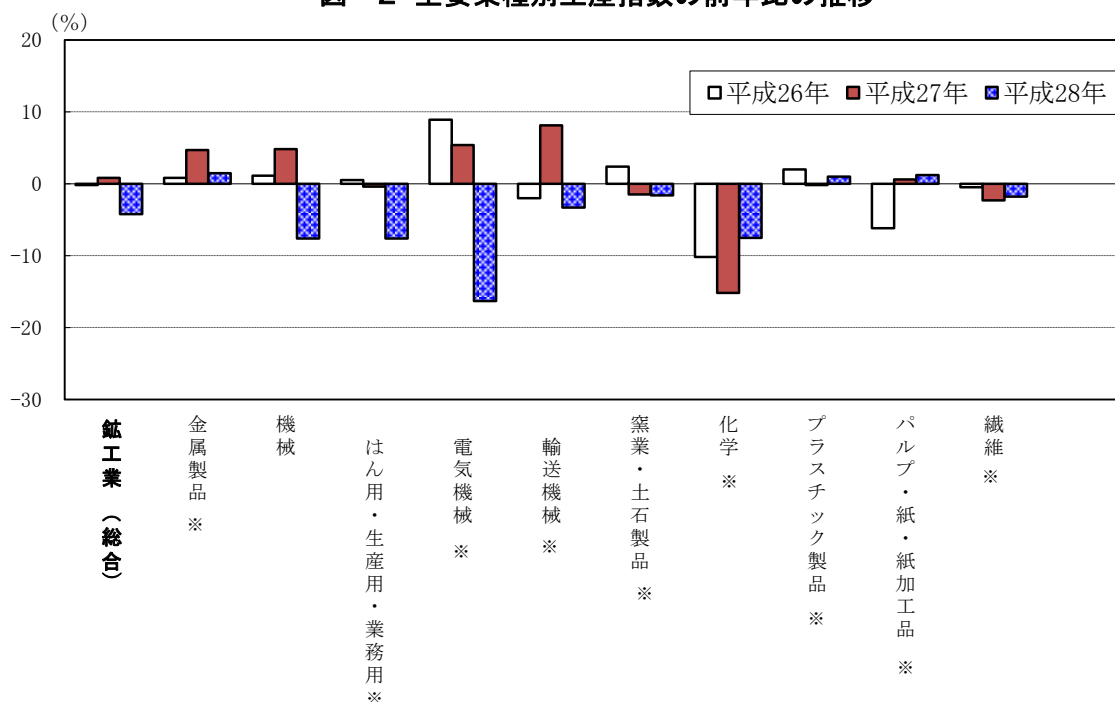
(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種*の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、金属製品工業（前年比1.5%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同1.2%）、プラスチック製品工業（同1.0%）の3業種となった。

一方、低下したのは、電気機械工業（同△16.3%）、はん用・生産用・業務用機械器具工業（同△7.6%）、化学工業（同△7.5%）、輸送機械工業（同△3.3%）、繊維工業（同△1.8%）、窯業・土石製品工業（同△1.6%）の6業種となった。（図-2、表-1）

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移



3 全国、中部との生産指数の比較

平成28年の全国における生産指数は、前年比0.1%の低下であった。
また、中部においては0.2%の低下であった。

(平成22年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成23年	102.6	2.6	97.2	△2.8	96.8	△3.2
24	99.5	△3.0	97.8	0.6	104.6	8.1
25	97.2	△2.3	97.0	△0.8	106.5	1.8
26	97.0	△0.2	99.0	2.1	111.8	5.0
27	97.8	0.8	97.8	△1.2	111.7	△0.1
28	93.7	△4.2	97.7	△0.1	111.5	△0.2

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県（愛知、三重、石川、富山、岐阜）

資料：経済産業省、中部経済産業局

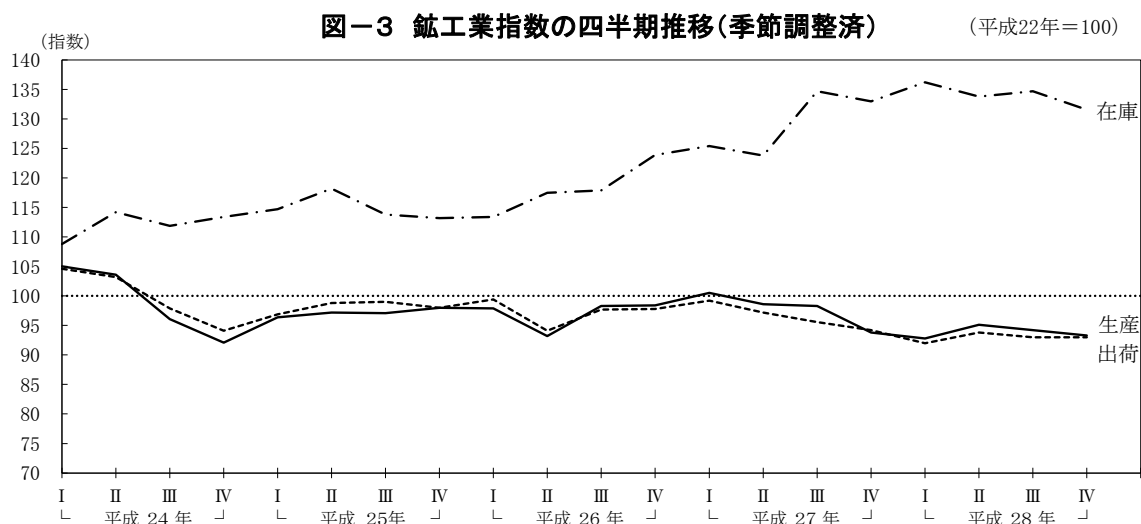
<平成28年 岐阜県鉱工業指数の詳細について>

1 鉱工業指数の四半期推移

平成28年の生産指数を四半期ごとにみると、第1四半期は前期比1.1%の低下、第2期は2.5%の上昇、第3期は0.9%の低下、第4期は1.0%の低下となった。出荷指数は第1期が低下、第2期が上昇、第3期が低下、第4期が横ばいとなった。

また、在庫指数は上昇と低下を繰り返した。

(図-3、表-2)

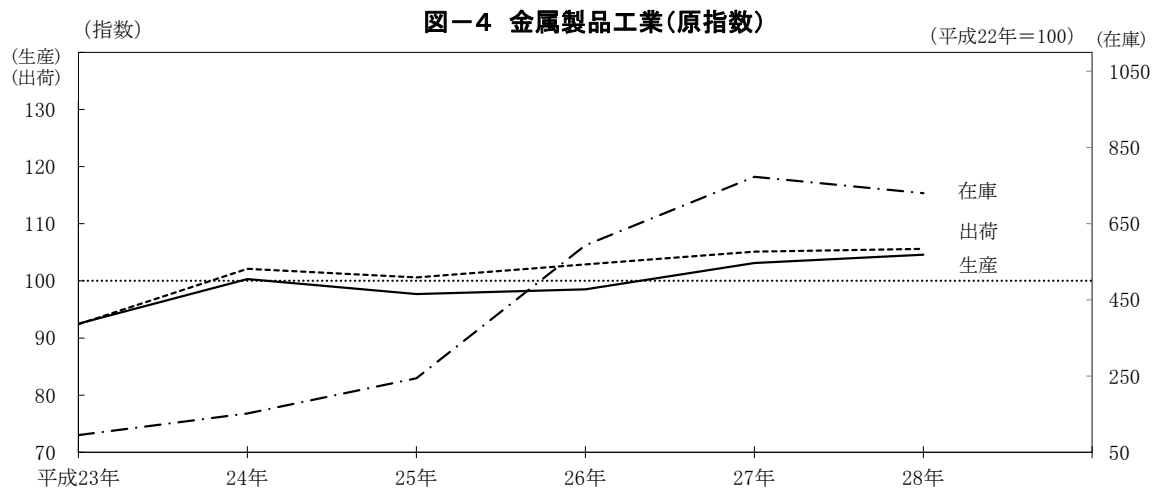


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、アルミサッシ、管継手等が減少したものの、ボルト・ナット、包丁等が増加したため、前年比1.5%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比0.5%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、アルミサッシ等が減少したため、前年比5.5%の低下となった。

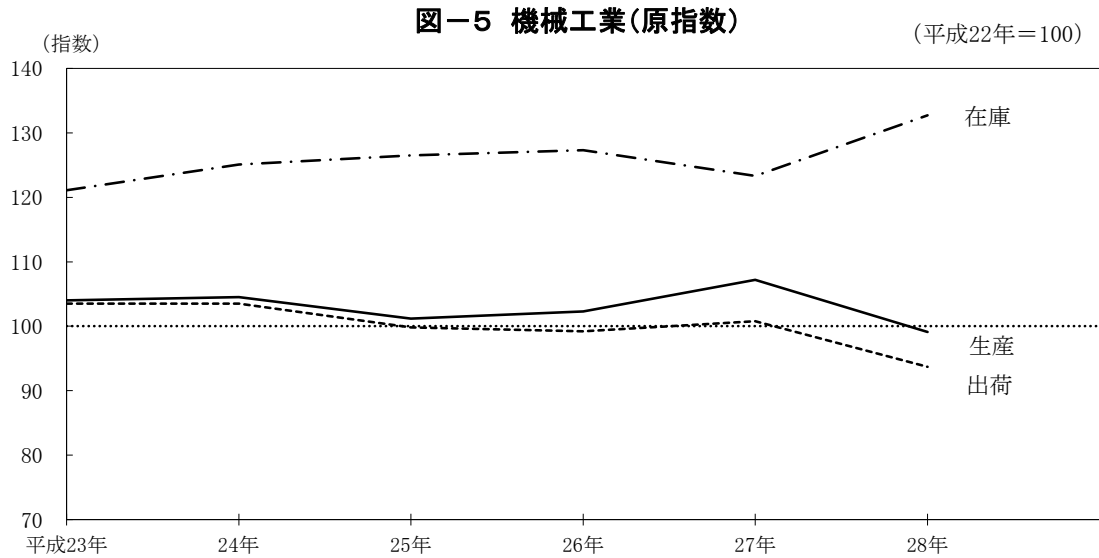
(図-4、表-1)



(2) 機械工業

- ・ 生産指数は、はん用・生産用・業務用機械器具工業、輸送機械工業、電気機械工業が低下したため、前年比7.6%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比7.0%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比7.6%の上昇となった。

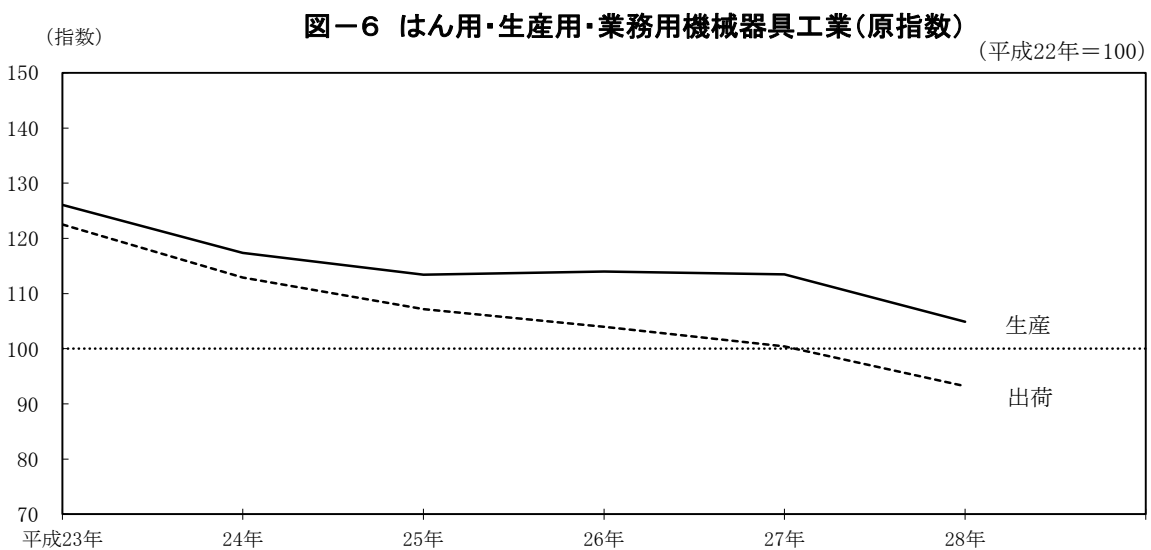
(図-5、表-1)



(2) -ア はん用・生産用・業務用機械器具工業

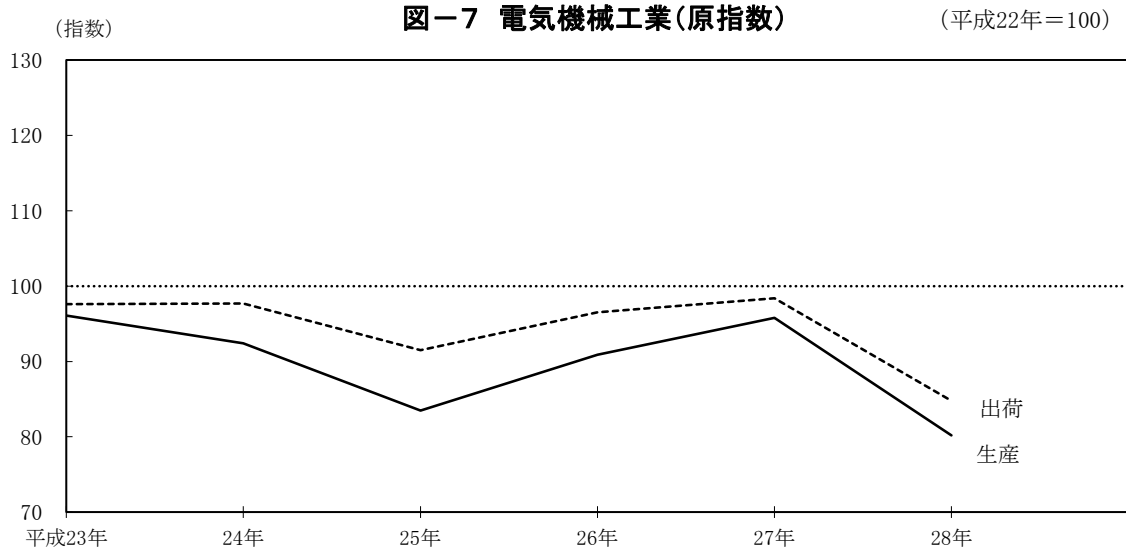
- ・ 生産指数は、油圧機器等が増加したものの、旋盤、研削盤等が減少したため、前年比7.6%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、旋盤、研削盤等が減少したため、前年比7.2%の低下となった。

(図-6、表-1)



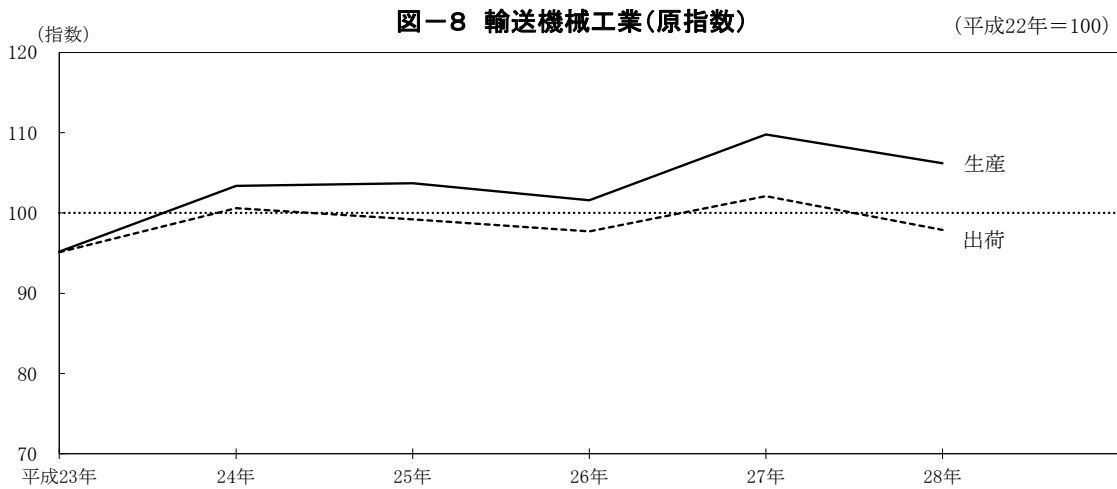
(2) ーイ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板、開閉制御装置等が減少したため、前年比16.3%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板、開閉制御装置等が減少したため、前年比13.8%の低下となった。
(図-7、表-1)



(2) ーウ 輸送機械工業

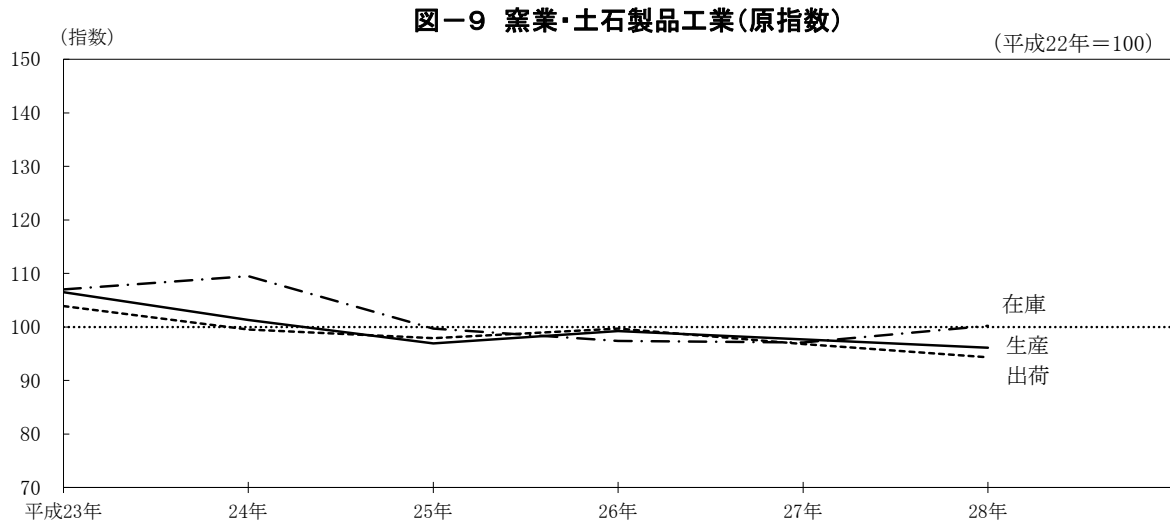
- ・ 生産指数は、機関部品等が減少したため、前年比3.3%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、機関部品等が減少したため、前年比4.1%の低下となった。
(図-8、表-1)



(3) 窯業・土石製品工業

- ・ 生産指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が増加したものの、耐火れんが等が減少したため、前年比1.6%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、生コンクリート等が減少したため、前年比2.6%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が増加したため、前年比3.2%の上昇となった。

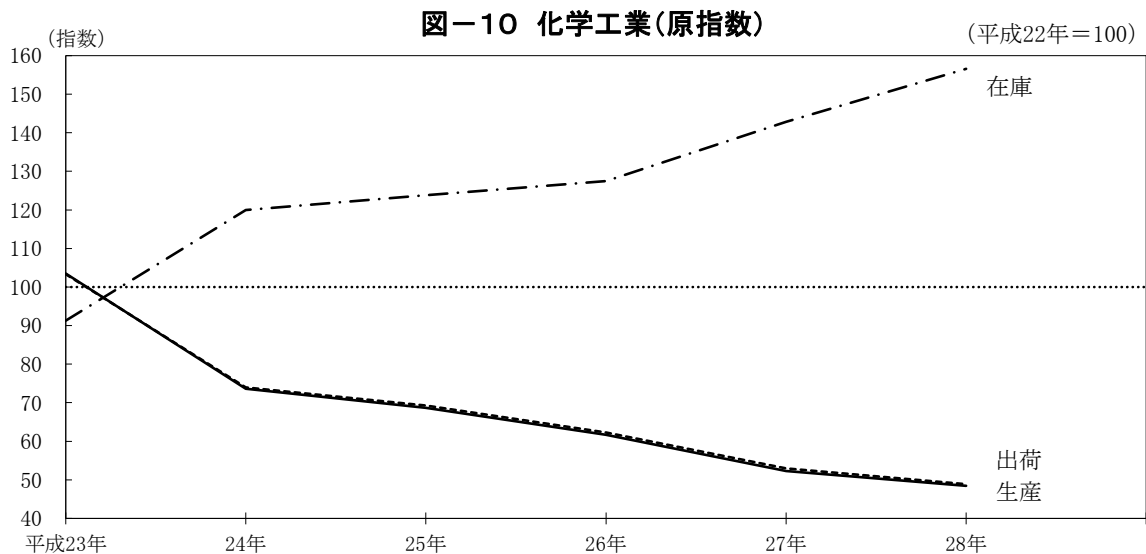
(図-9、表-1)



(4) 化学工業

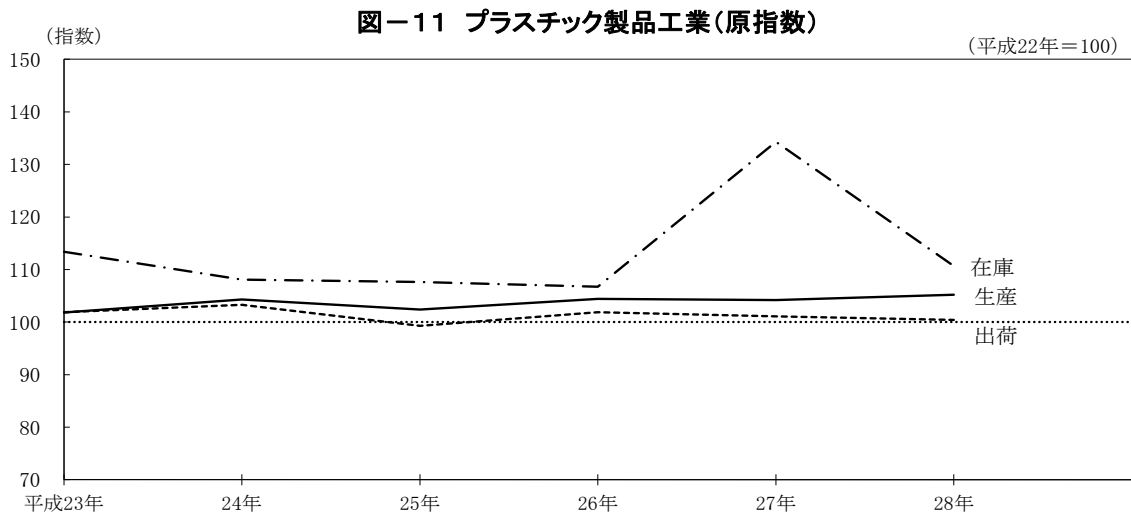
- ・ 生産指数は、前年比7.5%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比7.7%の低下となった
- ・ 在庫指数は、前年比9.7%の上昇となった。

(図-10、表-1)



(5) プラスチック製品工業

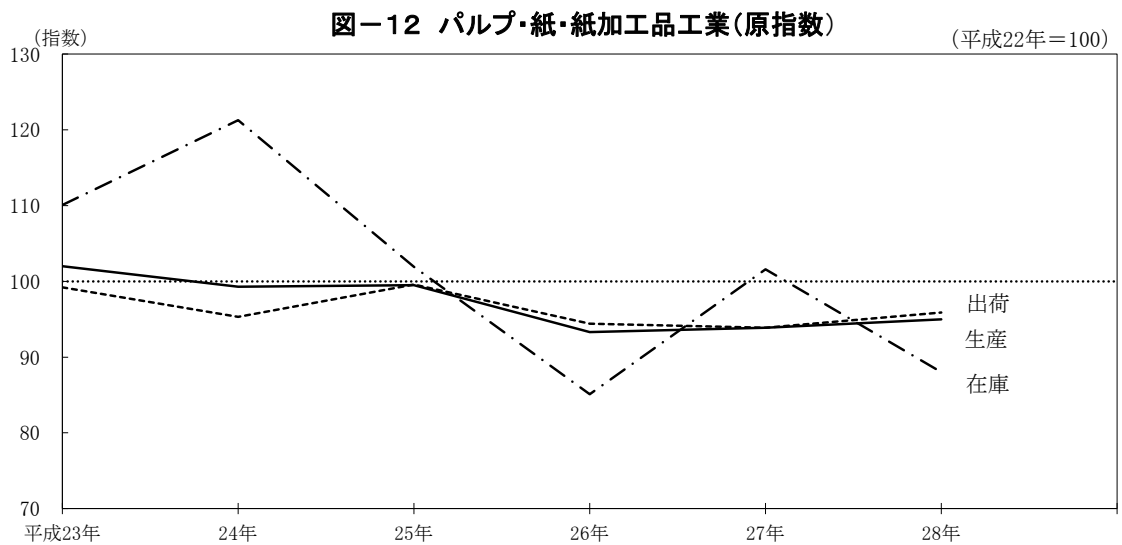
- ・ 生産指数は、プラスチック製フィルム等が減少したものの、プラスチック製容器、発砲プラスチック製品等が増加したため、前年比1.0%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、プラスチック製容器等が増加したため、前年比0.3%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、プラスチック製フィルム等が減少したため、前年比17.6%の低下となった。
(図-11、表-1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、段ボール原紙等が減少したものの、衛生用紙、段ボール等が増加したため、前年比1.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、衛生用紙等が増加したため、前年比2.1%の上昇となった
- ・ 在庫指数は、雑種紙等が減少したため、前年比13.4%の低下となった。

(図-12、表-1)



(7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、不織布等が増加したものの、合成繊維織物染色整理、ニット生地染色整理等が減少したため、前年比1.8%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、毛織物染色整理、ニット生地染色整理等が減少したため、前年比3.3%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、毛織物、不織布等が増加したため、前年比9.7%の上昇となった。

(図-13、表-1)

